

#789 初めて取り組むＩＣＴ活用工事もスマートコンストラクションで安全安心に



■■ 現場詳細 ■■ 香川県丸亀市飯山町

新設道路工事に於ける路体盛土工

【施工数量】盛土 6,000m³/法面整形 2,000m²

【ソリューション】ドローン測量/Smart Construction Dashboard/転圧管理システム

【稼働建機】PC200i/D37PXi

(掲載月：2023年4月)

初めてのＩＣＴ活用工事に挑戦



3次元データで現場を見える化



■■ 導入経緯 ■■

(有)ヘビーワン 代表取締役 小川一さん

ＩＣＴ活用工事についておおまかな知識はありましたが、今までＩＣＴ活用工事の実施について深く検討したことは無く、従来施工をしていました。

今回の工事を落札した際に、コマツの営業よりスマートコンストラクションの提案を受け、ＩＣＴ活用工事の実施を真剣に考えるようになりました。盛土のボリュームも比較的大きく現場条件も良かったため、ＩＣＴ活用工事向きな現場だと感じ導入を検討しました。

実際にＩＣＴ活用工事の流れを聞き、取り組んだことのない3次元起工測量やＩＣＴ建機での施工などに対して、最初は不安な気持ちが正直大きかったです。しかし、スマートコンストラクションであればＩＣＴ建機だけでなく、3次元起工測量から一括してサポートしてもらえるとのことで、ＩＣＴ施工未経験の当社でも安心して取り組めると思い、導入を決意しました。

■■ 導入効果 ■■

(有)ヘビーワン 代表取締役 小川一さん

スマートコンストラクションを導入したことで、現場状況が見える化されたことに一番効果を感じました。Smart Construction Dashboardには3次元点群や3次元設計データのビューアー機能があり、パソコンから3次元設計データを確認できました。従来では、2次元図面から完成形状をイメージしなければならず容易なことではありませんでした。Smart Construction Dashboardで見る3次元設計データであれば誰でも完成形状をイメージすることができると感じました。また、ドローン測量により生成された現況地形の3次元点群は、写真等を用いて説明するより非常に分かりやすく鮮明で、地域住民への説明にも役立ちました。

ＩＣＴ建機に関しても、建機に搭載されたモニターで高さ確認ができるため、オペレーターが乗り降りする回数が減り、生産性や安全性の向上につながりました。現場作業員はブルドーザーでの施工経験がほとんどありませんでしたが、ＩＣＴブルドーザーを使ったことで盛土箇所も綺麗に仕上げることができました。

スマートコンストラクションを導入したことで、初めてのＩＣＴ活用工事に安心して取り組むことができ、ＩＣＴ施工への理解が一層深まりました。

(有)ヘビーワン 様

昭和58年 創業

総業以来着実に実績を伸ばし、現在、公共工事・民間工事に頑張っております。

社員と会社が和気あいあいとオープンな関係であり、笑い声が絶えない明るい職場であります。



代表取締役 小川一 さん